

2014（平成26）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
なごみの里【就労継続支援B型】

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するためお互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）コンセプト（平成26年度～平成28年度）

地域で豊かに生きていくために

- ・心身共に健康で
- ・応用的生活技術の向上に努め
- ・自己選択 できるよう 個々に合った支援をしていく

（3）基本方針

- ① 応用的生活技術向上のため、個別または小グループでの支援を提供する。
 - ・宿泊など小グループで行動し、それぞれのニーズに応じた支援ができた。また一人暮らしに向けて支援を行い、一人暮らしを実現させることができた。
- ② 自治活動などを通して主体的に考え、実現していく。
 - ・お茶会や旅行の行先、仕事や工賃の仕組みなど、みんなで考える場となった。
- ③ 年齢や性別に応じた検診により大病の予防に努め、豊かな地域生活を少しでも長く楽しめるよう支援する。
 - ・生活環境が違っても、さまざまな健診により健康が維持された。また健診結果を通院に結び付けることができた。
- ④ 利用者・保護者の気持ちに寄り添い、信頼と満足の頂ける支援を行う。
 - ・支援にどのように生かされたのかわかりにくい結果となった。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
(2) 利用定員 40名（平成26年度利用者数41名）
(3) 開所年月 平成21年4月
(4) 施設規模 敷地面積 433.24㎡
延床面積 494.9㎡
建物構造 鉄骨造り二階建て
賃貸区分 民間より賃貸

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名 ※
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	5名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名 ※
支援員（非常勤職員）	6名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
運転手（非常勤職員）	1名
合 計	14名

(2) 嘱託

医師（4回／年）	1名 ※
看護師	0名
理学療法士（1回／月）	1名
作業療法士	0名
合 計	2名

※ 生活介護・就労継続支援（B型）と兼任

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1度	2度	3度	4度	未定	合計
愛の手帳	0名	11名	15名	15名	0名	41名
身障手帳	0名	0名	1名	1名	0名	2名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

(2) 年齢構成 (平均年齢37.7歳)

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
男	1名	9名	7名	5名	4名	1名	27名
女	2名	3名	1名	4名	2名	2名	14名
合計	3名	12名	8名	9名	6名	3名	41名

最低年齢 男…19歳 女…18歳 最高年齢 男…67歳 女…69歳

平均年齢 男…36.7歳 女…39.7歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	国分寺市	調布市	所沢市	清瀬市	東久留米市	合計
36名	1名	1名	1名	1名	1名	41名

(4) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	41	41	
延べ日数	880	920	880	920	920	880	920	880	920	920	720	920	10680
延べ人数	754	775	746	784	744	750	771	748	770	739	670	781	9032
出勤率(%)	85.7	84.2	84.8	85.2	80.9	85.2	83.8	85.0	83.7	80.3	83.8	84.9	84.6

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30	出勤
8:30～9:00	体操(ラジオ体操)朝礼
9:00～12:00	作業
12:00～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:30	作業
15:30～15:45	清掃

(2) 土曜日

時間	内容
8:30	出勤
8:30～11:30	作業
11:30～12:00	昼食・終礼・帰宅

6. 重点目標

(1) 応用的生活技術向上のための支援の充実

- ① クラブ活動や各種行事を含む日課の中で、買い物・洗濯・交通機関の利用・身だしなみ・清掃など地域生活に必要なスキルの獲得を支援する。

・公共の場を利用する事で施設の使い方、店の人との関わりを通じ学ぶことがたくさんあった。

- ・グループ意識をもって行動できた。また必要なスキルが何かをクラブや行事を通して考え、実行する事ができた。
- ② 利用者を取りまく支援者、機関を活用し相互に連携していく。
- ・市や、るーと等多方面からトータルで支援する事ができた。

(2) 健康・衛生

- ① 一般健康診断の他、歯科検診・婦人科検診・眼科検診を行い、利用者の健康状態の把握に努め、アフターフォローしていく。
- ・全体で実施することで健康状態の把握ができたが、ケース担当、検診担当等確実にフォローする事ができない場面もあった。
 - ・健康診断（なごみの里B型事業所にて）白十字病院健診車他 11/7
子宮がん検診（白十字病院） 10/28 11/25 12/2
眼科検診（片岡眼科）7/7・8・14・15・16・18
 - ・嘱託医相談…内科（久保クリニック 久保 Dr） 6/19 11/27 12/11 3/19
理学療法（栗原 PT） 4/16 7/16 8/25 9/20 10/22 11/29 12/2 1/24
2/19 3/10
 - ・歯科検診…なごみの里にて（折笠 Dr、橋本 Dr） 11/20
 - ・インフルエンザ予防接種（久保クリニック 久保 Dr）…なごみの里にて 11/27
 - ・体重測定、体脂肪測定…月1回初日に測定し、4カ月分の体重、体脂肪、骨量、基礎代謝等のデータをまとめ、各家庭に配布した。
- ② 自分の歯でいつまでも好きなものが食べられるよう歯科衛生士による歯磨き指導を行い、また保護者にも依頼し口腔衛生の理解を深める。
- ・利用者だけでなく、職員にとっても口腔衛生についての知識を得られる場となった。
 - ・状態が良くなっている人が多く、成果が表れている
- ③ 嘱託医・理学療法士等のアドバイスのもと、肥満やけがの予防・機能維持に取り組む。
- ・エアロバイクを有効に活用でき、適切なアドバイスをもらえ支援につなげられた

(3) 生産活動

① 稼働作業種目

	作業種	作業内容	受注・納入先	稼働日	参加	25年度収入	26年度収入
外 作 業	回収	古紙回収	地域各所、都営団地他	週2~4回	2名	1,476,680	1,616,407
	公園清掃	中央公園・浅間山公園	西武・武蔵野パートナーズ	月6回	7名	1,332,900	1,230,600
	水やり	花の水やり、草取り	白十字ホーム	随時	3名	94,158	140,160
室 内 作 業	受注 作業	カラーバッグ	(株)新光	随時	全員	26,800	37,000
		ショッピングバッグ製作	(有)鈴木紙工	随時	全員	465,271	680,312
		箱組み立て	(有)小沢加工所	随時	全員	592,742	831,628
		封入	トーグラ・サービス(株)	随時	全員	112,106	20,700
		箱組み立て	ワイエス株式会社	随時	全員	19,830	0

	自主製品	ごませんべい ソースせんべい	市役所・富士見公民館 みどりの森ミニバザー、 清瀬特支学校、各イベント	週2～3回	8名	494,767	794,530
--	------	-------------------	---	-------	----	---------	---------

② 工賃支払実績

	総額	平均額	最高額	最低額
4月	350,020	9,723	19,680	1,250
5月	350,000	9,211	18,250	1,720
6月	300,000	7,895	15,600	1,110
賞与	227,000	5,973	16,000	2,000
7月	300,050	7,896	15,580	1,120
8月	300,010	7,895	15,500	1,110
9月	300,030	8,109	16,240	1,380
10月	300,010	8,108	15,290	1,180
11月	300,000	7,895	16,330	1,190
12月	300,000	8,108	15,750	1,780
賞与	308,000	8,800	21,000	2,000
1月	300,150	7,899	15,880	1,180
2月	300,030	7,896	16,670	1,190
3月	303,600	7,989	16,450	1,440
合計	6,938,900	113,397	234,220	19,650

- ③ 自主製品の既存のごませんべいに加えソースせんべいの販路拡大を行うと共に、保護者の協力を得て、アクセサリーの製作・販売を試行していく。
- ・地域に少しずつ知られるようになってきた。また利用者の販売意識が高まった。
 - ・アクセサリーは行事や施設での販売を実施したが、販売価格のためか思ったようには売れなかった。
- ④ ニーズに応じて短時間雇用などの開拓・支援を行う。また就労先と連携しすぐにフォローできる態勢を整えていく。
- ・実習は行えたが雇用につながらなかった

(4) 給食

- ① 楽しい食事であるよう、選択できる2種類のメニューと自由でゆったり食べられる環境を提供する。
- ・選択でき利用者一人一人が食べたいものを選択できるようになった。定着してきた。
 - ・自由にレンジを使い、好きな温度に温めて食べられるようになってきた。
- ② 季節のイベントに合わせ（夏祭り・クリスマス）装飾や演出を工夫し、保護者と共に楽しめる機会を提供する。
- ・保護者の協力が得られ、年々盛大になってきた。装飾の他パン・クッキーの販売等協力を得ることができた。

- ・地域の人の参加が見られ、利用者もとても楽しみにしていた。
- ・季節感のある装飾がとても楽しめ、保護者等と交流の機会となった

③ 栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
						B1	B2	C
計画	668Kcal	24.9g	93.2g	18.6g	128mg	0.38mg	0.34mg	0.38mg
実績	645Kcal	23.9g	94.3g	17.5g	111mg	0.39mg	0.30mg	0.35mg

(5) 自治会活動

- ① 行事やクラブ活動、お茶会など、自治会活動を活用し、選択する機会を作る。
 - ・選択できる事柄が増えた。また選択できる事で意欲的に行動する事につながった
- ② 自分の意見を伝え、また他者の話を聴く事ができるよう働きかける。
 - ・終礼など、毎日の日課の中で工夫して場面を増やした事で、個々の個別支援につなげる事ができた。

(6) 行事

① 年間行事

日付	内容	場所	目的	人数
4/4	お花見ウォーキング	全生園内	新入所者・保護者との交流、体力増進	40名
6/20	インディペンデンス市学生訪問	なごみの里	インディペンデンス市との交流と相互理解	50名
7/22	グループ外出(ディズニーオンアイス)	代々木第一体育館	ディズニーのキャラクターによるスケートショーを楽しむ	7名
7/26	後援会主催演奏会	なごみの里 食堂	オーケストラの演奏を聴くことで音の世界を楽しむ	50名
8/5, 26	防災館	立川防災館	災害時を体験し、行動学ぶ	52名
8/13	お楽しみ給食「夏祭り」	なごみの里 食堂	地域と交流し、季節に合わせた給食を楽しむ	60名
9/6	共催バザー	市民センター駐車場	親の会、保護者、他事業所との交流。	40名
9/26	グループ外出(よみうりランド)	よみうりランド	興味のあることを選択し楽しむ	10名
9/29	G外出(食品サンプル&サンシャイン水族会)	サンシャイン水族館他	食品サンプルの作成などを楽しむ	9名
10/24	日帰り旅行	神奈川県鎌倉市	鎌倉の歴史散策とテーブルマナーの実践	12名
11/3	共催運動会	八坂小学校	親の会、保護者、他事業所との交流。	30名
11/12 ~14	宿泊旅行「仙台」	宮城県仙台市	個々の目標達成と被災地視察を通して防災意識を高める	34名
12/16	G外出「バスツアー」	静岡県熱海市	興味のあることを選択し楽しむ	13名
12/26	クリスマス給食会	なごみの里 食堂	1年間の活動発表など、保護者と交流しながら楽しむ	50名
1/18	成人を祝う会	中央公民館	卒業後の節目を祝う	30名
1/30	グループ外出「温泉」	秩父市 農園ホテル	興味あることを選択し、温泉を楽しむ	8名
2/6	バス旅行「いちご狩り」	静岡県沼津市	利用者・保護者・支援員の交流	48名

- ・グループ外出・・・6グループに分かれて実施
- ・クラブ活動

- ・運動（東村山市民ステーションサンパルネ）
5/9, 23 6/13, 27 7/11, 25 8/22 9/12, 26 10/10, 31 11/21 12/12,
1/9, 23 2/13, 27 3/13, 20
- ・お風呂&カフェ（お風呂の王様）
5/16 6/13 7/18 8/22 9/12 10/10 11/10 12/12 1/9 2/13 3/13
- ・カラオケ（シダックス東村山駅前クラブ）
5/28 6/25 7/23 8/27 9/24 10/22 11/26 12/24 1/28 2/25 3/11
- ・ボウリング（久米川ボウル）
5/14 6/11 7/9 8/6 9/10 10/8 11/19 12/10 1/14 2/4 3/4

7. 防災訓練

（1）防災

- ① 支援者は全員が普通救命技能を取得すると共に上級講習にも参加を促し、非常時に速やかに行動できるようする。
 - ・上級を取得する人はいなかったが、防災意識を高めることができた
- ② 防災計画に基づき月1回の通常訓練・一時避難場所までの避難訓練を行うと共に、防災館を利用し疑似災害を体験する。
 - ・自分で行動することで意識を持たないように感じた
- ③ 防火管理者を中心に定期的な自主点検活動を行う。
 - ・定められた業者による点検を行ったが具体的な点検内容が職員に周知されていなかった。

（2）事故防止

- ① 安全に過ごすための環境作りについて、工夫に努め、点検・管理を行う。
 - ・運転者の体調に注意し、事故なく過ごす事ができた。
- ② 車輦について安全運転管理者を中心に事故防止に努めると共に、定期的なチェックにより車の不良・消耗を確認し対処する。
 - ・チェックリストを作り、定期的実施し早めにメンテすることができた。

（3）各送迎コースの道路状況を定期的に確認し、事故防止に努める。

- ・送迎担当職員で情報交換を行った。またコースの説明、運転指導を受け、運転に関するリスクのある場所などを把握した。

8. 施設外の方との関係

（1）挨拶など日常的な関係を大切にする。

- ・外出先などでは意識して行う事ができた。施設への来所者に対して課題が残った。

（2）地元行事の夏、秋まつりに協力し、地域交流を図る

- ・久米川駅前マルシェ、夏祭り等に参加でき、ごまさんのPRにつながった

9. 実習生の受け入れ

（1）地域の特別支援学校などより実習を受け入れ体験の場を提供する。

- ・清瀬特別支援学校より 4名（3年生2名、2年生2名）

任意実習 8名

(2) 大学などの実習を受け入れ障がい福祉に理解ある人材を養成する一端を担う。(介護体験)

・介護体験 27名×5日

10. 父母会、親の会との連携

(1) 父母会

①保護者の施設に対する理解を深めるため、2ヶ月に1回保護者会を行う。

・保護者の意見をタイムリーに聞いたり、現状報告として大切な場となっている。

②毎月なごみ便りで施設の近況や取り組みを報告し、共通理解に努める。

・G外出や運動会の感想など、利用者の生の声を届けた。

③ 行事や作業への参加を通し、楽しみややりがいを感じていただける機会を提供する。

・夏祭りの商品提供や行事参加等、いろいろな形で参加頂くことができた。

(2) 親の会

①共催行事等を通し、お互いに協力をしていく。

・バザー、運動会、成人を祝う会等実施できた。

11. 職員研修

①職員個々、行動障害等の知識や支援技術に関して研修などを通してスキルアップを図る。

・研修を通し、知識を深めると共に自分の支援を振り返る機会となった。また参加後に、仕事の量を視覚的に理解できるようにするなどなごみでできることに取り組んだ

②リスクPT・人権研修等を活かした取り組みを行う。

・各施設との連携や共通のリスク事項に関して共有する事ができたが具体的な取り組みに至らなかった。法人研修(年2回)は各事業所共通内容の研修になった。

研修での結果を発表、問題提起を行い結論まで話し合う事ができた

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
福祉職員職務階層別新任職員研修	5月20日 ~21日	東京都福祉人材センター研修室	東京都社会福祉保険医療研修センター	
普通救命救急	5月26日 6月7日	東村山消防署	東村山消防署 本町出張所	
福祉職員職務階層別新任職員研修	5月27日 ~28日	東京都福祉人材センター研修室	東京都社会福祉保険医療研修センター	
事務職員向けマナー研修	6月28日	東京都福祉保健局	飯田橋セントラルプラザ	
計画相談の基礎知識	8月27日	東京都社会福祉協議会知的発達障害部会	研究社英語センター	
発達障害者相談支援研修	9月25日	東京都福祉保健局	東京都社会福祉保険医療研修センター	
発達障害者相談支援研修「相談支援知識向上研修」	10月25日 ~26日	東京都福祉保健局	上智大学四谷キャンパス	

福祉施設経営実務研修「経営中級課程」	11月27日 12月1日	東京都福祉人材センター研修室	東京都社会福祉保険医療研修センター	
利用者支援研究会「知的障害とは」	1月19日	東京都社会福祉協議会知的発達障害部会	中野サンプラザ・メイプルガーデン	
人がやめない職場作り	2月16日	東京都福祉人材センター人材情報室	ベルサール神保町	
社会福祉施設・病院等防火安全対策連絡会	2月23日	東京消防庁東村山消防署	社会福祉法人恩賜財団さやま園	

12. 会議

種 目	回 数	内 容
事業別職員会議	1回/月	行事実施、C対応等について
常勤会議	1回/月	2事業所合同の常勤会議
評価会議	1回/月	アセスメントの見直し
給食会議	4回/年	委託業者への希望、課題等
ケース会議	3~4 ケース /月	ケース個々について
個別支援計画会議	2回/年	各ケースの支援計画について

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

①担当窓口及び第三者委員を設置し、対応にあたる。

意思が伝わる関係を作り、丁寧に対応する。

- ・保護者・利用者とは日頃から小さなことでも伝えていくことで良好な関係を作っていくことを心掛け、連絡帳などを利用した。

(2) 個人情報保護

情報の重要性を認識し、適切な保護に努める。

- ・シュレッダーの活用、パソコン内のデータ保護、口頭での流出に気を付けた。

(3) 権利擁護・セクシャルハラスメント防止

各種研修を利用しながら意識を持って取り組む。また担当窓口を設置し、丁寧に対応する。

- ・個々での対応を行っているが、研修を通し日々できる最善のことを実行することで次第に人権を守ることにつながることを学んだ

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者		395-5700
担当者		395-5700
第三者委員		395-5700

実際の苦情・要望

- ・ 選択の機会がある時は、本人だけでなくあらかじめ親に相談してほしい
（宿泊旅行、グループ外出、クラブ活動等々）
- ・ 特定の利用者と同じ場面にしないでほしい。

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者		395-5700
担当者（男性）		395-5700
担当者（女性）		395-5700